参考様式の２　　調査研究・研修・広聴広報・要請陳情等　活動実績報告書　　報告日＊　令和7年12月19日

会派名　自由民主党富山県議会議員会
報告者　建設農水部会

整理番号	1135	使途項目＊	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和7年11月5日　から 令和7年11月7日　まで	活動の概要＊	建設農水部会　県外視察（宮城・福島・山形）	
場所	①宮城県漁業協同組合志津川支所 ②有限会社　伊豆沼農産 ③株式会社　舞台ファーム ④二本松市 ⑤道の駅天童温泉 ⑥株式会社　ＳＨＯＮＡＩ ⑦一般社団法人鶴岡サイエンスパーク	（内容） 別紙報告書		【参加者 安達孝彦　鍋嶋慎一郎 宮本光明　庄司昌弘 癌師富士夫（11/6 帰県） 光澤智樹（11/7上京） 米原　蕃（11/7 帰県）

	金額＊		金額＊
① 鉄道	275,590	⑧ お土産代（振込手数料含む）	14,435
② ハイヤー	474,000		
③ 高速料	17,940		
④ 宿泊代	170,300		
⑤ 国内取扱手数料	7,700		
⑥ セミナー代（振込手数料含む）	149,490		
⑦ 食事代	42,500	計	1,151,955

《領収書貼付枠》　（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）

①～⑤　945,530円
⑥　149,490円
⑦　42,500円
⑧　14,435円

1,151,955円

（注１）備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
（注２）自家用車は利用距離数（Km）をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
（注３）経費項目の合計は自動計算されます。

収受　令和　年　月　日
決裁　令和　年　月　日
処理　令和7年12月22日

旅行会社請求分

項目	内　容	単価	数	金額	政務活動費		個人負担
ＪＲ券代	11/5　富山→仙台	21,240	7	148,680	148,680		
	11/6　二本松→新高岡 癌師	18,710	1	18,710	18,710		
	11/7　仙台→富山 安達・鍋嶋・米原・宮本・庄司	21,640	5	108,200	108,200		
	11/7　天童→新高岡（変更差額） 米原	820	1	820			820
				276,410	**275,590**	①	820
ハイヤー代	11/5　仙台→登米→仙台	124,000	1	124,000	124,000		
	11/6　仙台→福島→山形	175,000	1	175,000	175,000		
	11/7　山形→鶴岡→仙台	175,000	1	175,000	175,000		
				474,000	**474,000**	②	
高速料	普通車	17,940	1	17,940	**17,940**	③	0
宿泊代	11/5　仙台	16,800	7	117,600	91,700		25,900
	11/6　山形（癌師除く）	21,199	6	127,194	78,600		48,594
				244,794	**170,300**	④	74,494
取扱手数料		1,100	7	7,700	**7,700**	⑤	0
	合計			1,020,844	**945,530** （①～⑤）		75,314
					1,020,844		

※　宿泊代　12,100円　朝食代1,000円　【政務活動費の手引きより】
※　癌師議員：11/6　二本松市役所視察後、帰県。
※　米原議員：11/7　11：47 天童駅発にて帰県。
※　光澤議員：11/7　11：47 天童駅発にて上京。（天童→東京→富山分の旅費は政務活動費対象外）

領　収　証

No. 32411

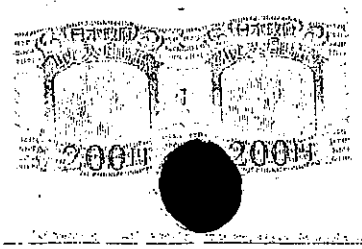
自由民主党富山県議会議員会政務調査会
厚生農水部会　殿

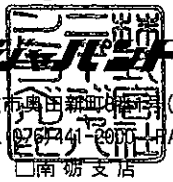
2025 年　12 月 22 日

¥ 1,020,844－　（税込）

但し 厚生農水部会 車内視察費として

上記の金額正に領収致しました





ニューミュンヘンビール

□本　社　富山市奥田新町16-31（ボルファートとやま）
TEL (076) 441-2000　FAX (076) 431-2735
□ファボーレ店　□南砺支店　□アルプラザ小杉店
□名古屋支店　□金沢営業所

係　員

No. 00531311-01
DATE: 2025年12月15日
PAGE: 1

930-8501
富山県富山市新総曲輪1-7

自由民主党富山県議会議員会
政務調査会　建設農水部会 御中

TEL: 076-444-3413
FAX: 076-444-3471

観光庁長官登録旅行業第[illegible]号
㈱ニュージャパントラベル
本社
登録番号：T5230001002797
〒930-0857 富山県富山市奥田新町８番1号
ボルファートとやま
TEL:076-441-2000　FAX:076-431-2735

請 求 書

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

				金額
□出発日	2025年11月05日（水）	(A00006)		
□ツアー名	自民党富山県議会 建設農水部会			
□明　細				
ＪＲ券代				
11/5 富山→仙台	7名様	(¥21,240 X 7)		¥148,680
11/6 二本松→新高岡	1名様（瘧師議員）	(¥18,710 X 1)		¥18,710
11/7 仙台→富山	5名様	(¥21,640 X 5)		¥108,200
11/7 天童→新高岡	変更差額（米原議員）	(¥820 X 1)		¥820
ハイヤー代				
11/5 ｼﾞｬﾝﾎﾞﾀｸｼｰ	仙台→登米→仙台	(¥124,000 X 1)		¥124,000
11/6 ｼﾞｬﾝﾎﾞﾀｸｼｰ	仙台→福島→山形	(¥175,000 X 1)		¥175,000
11/7 ｼﾞｬﾝﾎﾞﾀｸｼｰ	山形→鶴岡→仙台	(¥175,000 X 1)		¥175,000
高速料/普通車		(¥17,940 X 1)		¥17,940
宿泊代				
11/5 仙台	三井ｶﾞｰﾃﾞﾝﾎﾃﾙ 7名	(¥16,800 X 7)		¥117,600
11/6 山形	ﾎﾃﾙﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝ 6名	(¥21,199 X 6)		¥127,194
国内取扱手数料		(¥1,100 X 7)		¥7,700
		【金額合計】	【内消費税額合計】	
		¥1,020,844	¥92,804	
	消費税10%対象	¥1,020,844	(内消費税) ¥92,804	

お支払いは弊社下記銀行口座へ
12 月 23 日　までにお振込願います。

□ 振込先：北陸銀行 奥田支店　当座 4038850
口座名：カ）ニュージャパントラベル
㈱ニュージャパントラベル

ご 請 求 額	¥1,020,844
ご 入 金 額	¥0
今回ご請求額	¥1,020,844
担当者	[redacted]

請求書

(6)

自由民主党富山県議会議員会　政務調査会
建設農水部会　部会長　安達　孝彦 様

Tsuruoka Science Park

一般社団法人鶴岡サイエンスパーク
代表理事　冨田　勝
登録番号:T4390005008896

〒997-0052
山形県鶴岡市覚岸寺字水上246番地2
鶴岡メタボロームキャンパスF棟1階事務室
TEL: 0235-26-0460
FAX: 0235-26-0645

請求書番号: 60-2025-11
請求日:　2025/11/10
お支払期限: 2025/12/31

件名: 鶴岡サイエンスパーク　視察セミナー一式

ご請求金額　148,500 円

品目	単価	数量	単位	価格
STANDARDプラン(90分) 基本料金	135,000	1	式	135,000

小計	135,000
消費税額合計	13,500
合計 (セミナー)	148,500
振込手数料	990
	¥ 149,490

税率別内訳

	税抜金額	消費税額	税込金額
10%	135,000	13,500	148,500

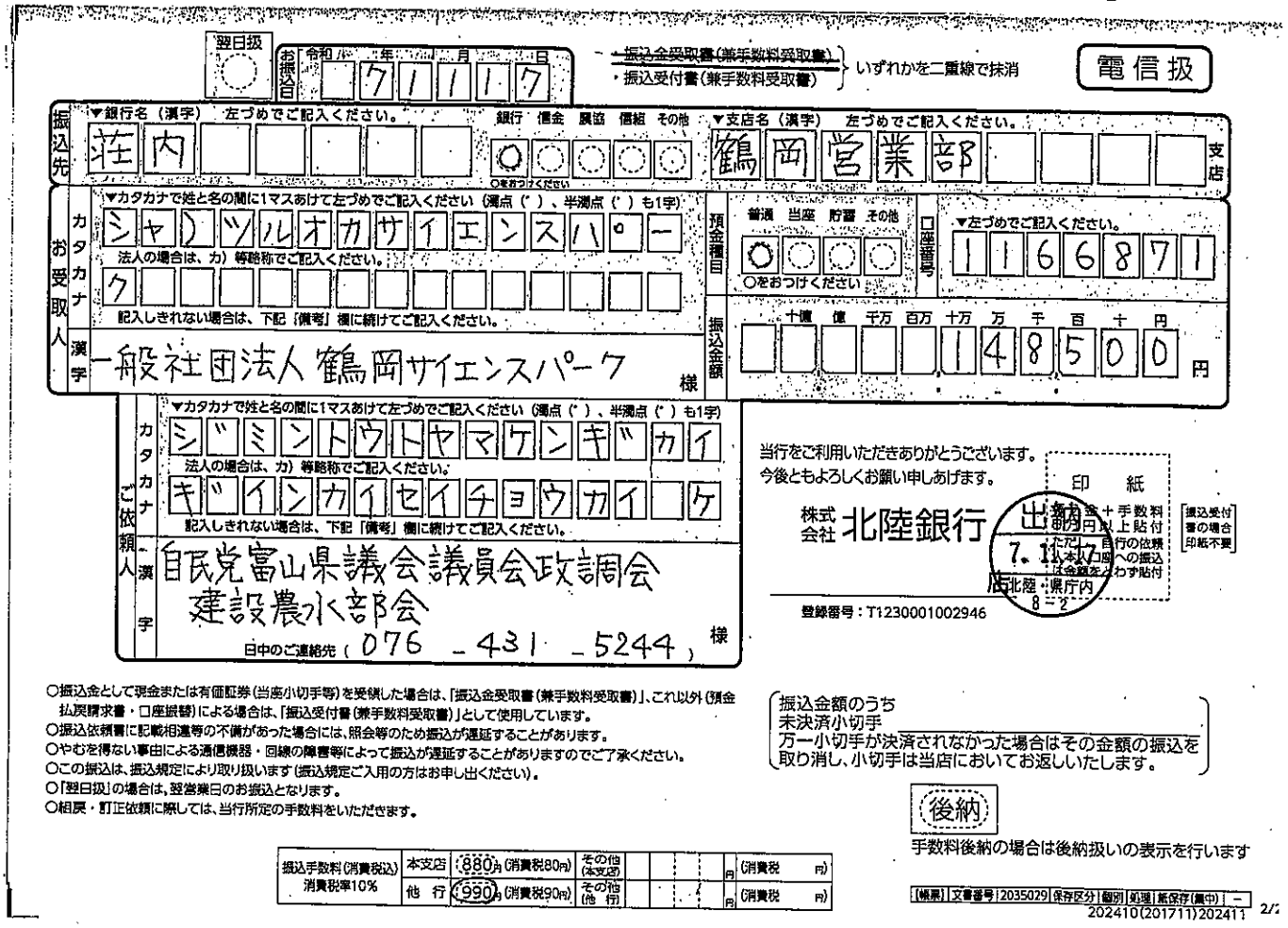
振込先

荘内銀行 鶴岡営業部(支店番号110)　※2025年5月26日より支店名が変更となりました(旧:本店営業部)
普通　1166871
シャ)ツルオカサイエンスパーク
誠に恐れ入りますが、振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

備考

開催日:2025年11月7日(金)

【鶴岡サイエンスパーク　視察セミナー代】　⑥



翌日扱
お振込日　令和 7 年 11 月 7 日
振込金受取書(兼手数料受取書)
・振込受付書(兼手数料受取書)　いずれかを二重線で抹消
電信扱

振込先
▼銀行名（漢字）　左づめでご記入ください。　荘内　銀行 信金 農協 信組 その他 ○をおつけください
▼支店名（漢字）　左づめでご記入ください。　鶴岡営業部　支店

お受取人
カタカナ　▼カタカナで姓と名の間に1マスあけて左づめでご記入ください（濁点（゛）、半濁点（゜）も1字）　シャ）ツルオカサイエンスハ°ー
法人の場合は、カ）等略称でご記入ください。　ク
記入しきれない場合は、下記「備考」欄に続けてご記入ください。
漢字　一般社団法人 鶴岡サイエンスパーク　様
預金種目　普通 当座 貯蓄 その他 ○をおつけください
口座番号　▼左づめでご記入ください。　1166871
振込金額　十億 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 円　1485000 円

ご依頼人
カタカナ　▼カタカナで姓と名の間に1マスあけて左づめでご記入ください（濁点（゛）、半濁点（゜）も1字）　シ゛ミントウトヤマケンキ゛カイ
法人の場合は、カ）等略称でご記入ください。　キ゛イインカイセイチョウカイ　ケ
記入しきれない場合は、下記「備考」欄に続けてご記入ください。
漢字　自民党富山県議会議員会政調会 建設農水部会
日中のご連絡先（ 076 - 431 - 5244 ）　様

当行をご利用いただきありがとうございます。
今後ともよろしくお願い申しあげます。
株式会社 北陸銀行
印紙　出金 8万円超 7.11.17 北陸・県庁内 8=2　振込手数料 880円 以上貼付 ただし 自行の依頼 本支店口座への振込 は金額左わず貼付　振込受付書の場合 印紙不要
登録番号：T1230001002946

○振込金として現金または有価証券（当座小切手等）を受領した場合は、「振込金受取書（兼手数料受取書）」、これ以外（預金払戻請求書・口座振替）による場合は、「振込受付書（兼手数料受取書）」として使用しています。
○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがあります。
○やむを得ない事由による通信機器・回線の障害等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
○この振込は、振込規定により取り扱います（振込規定ご入用の方はお申し出ください）。
○「翌日扱」の場合は、翌営業日のお振込となります。
○組戻・訂正依頼に際しては、当行所定の手数料をいただきます。

振込金額のうち
未決済小切手
万一小切手が決済されなかった場合はその金額の振込を取り消し、小切手は当店においてお返しいたします。

後納
手数料後納の場合は後納扱いの表示を行います

振込手数料(消費税込) 消費税率10%	本支店	880円 (消費税80円)	その他(本支店)	円 (消費税 円)
	他行	990円 (消費税90円)	その他(他行)	円 (消費税 円)

[帳票] 文書番号 2035029 保存区分 個別 処理 紙保存(無中) －
202410(201711)202411　2/2

【食事代】

	11/5	11/6		11/7		入金額
	夕食	昼食	夕食	昼食		
安達	2,000	1,500	2,000	1,500	→	7,000
鍋嶋	2,000	1,500	2,000	1,500	→	7,000
米原	2,000	1,500	2,000	—	→	5,500
宮本	2,000	1,500	2,000	1,500	→	7,000
瘧師	2,000	1,500	—	—	→	3,500
庄司	2,000	1,500	2,000	1,500	→	7,000
光澤	2,000	1,500	2,000	—	→	5,500
	14,000	10,500	12,000	6,000		42,500 ⑦
合計	42,500					

課税登録番号：T5230001001936

請求書

売上日	お客様No.	伝票No.	頁
2025/11/05	091794	138442	1－1

自由民主党富山県議会議員会　政務調査会
建設農水部会長　安達　孝彦　様

富山県いきいき物産株式会社
代表取締役社長宮村　樹

□本　　社　〒930-0002
富山県富山市新富町1丁目2番3号
CiCビル
TEL 076-444-7137　FAX 076-444-7133
フリーダイヤル 0070-800-4123
URL http://www.ikiiki-toyama.co.jp
E-mail ikiiki@ikiiki-toyama.co.jp

□ 東京有楽町店
〒100-0006
東京都千代田区有楽町2丁目10番1号
東京交通会館地下1階「いきいき富山館」内
TEL 03-3213-1244　FAX 03-3287-1722

□ 日本橋とやま館店
〒103-0022
東京都中央区日本橋室町1丁目2番6号
日本橋大栄ビル1階「日本橋とやま館」内
TEL 03-3516-3020　FAX 03-3516-3021

毎度お引き立てをたまわり、誠にありがとうございます。　下記の通り納品いたしました。

品名	数量	単価	金額	備考
＊ しろえび紀行(2枚×18袋)	12	1,150	13,800	
紙袋（大）	6	50	300	

＊ 軽減税率対象

税　率	8.0%	10.0%
小　計	13,800	300
送　料		1,400
税抜合計	13,800	1,700
消費税	1,104	170
税込合計	14,904	1,870
合　計		16,774
代引手数料		0
総合計		16,774

※振込先

北陸銀行富山駅前支店	普通４３４７８６０	富山県いきいき物産
北陸銀行白山支店	普通４１４２５８０	富山県いきいき物産　東京営業所
郵便振替	００７８０－８－３１０６３	富山県いきいき物産

建設農水部会

【お土産】

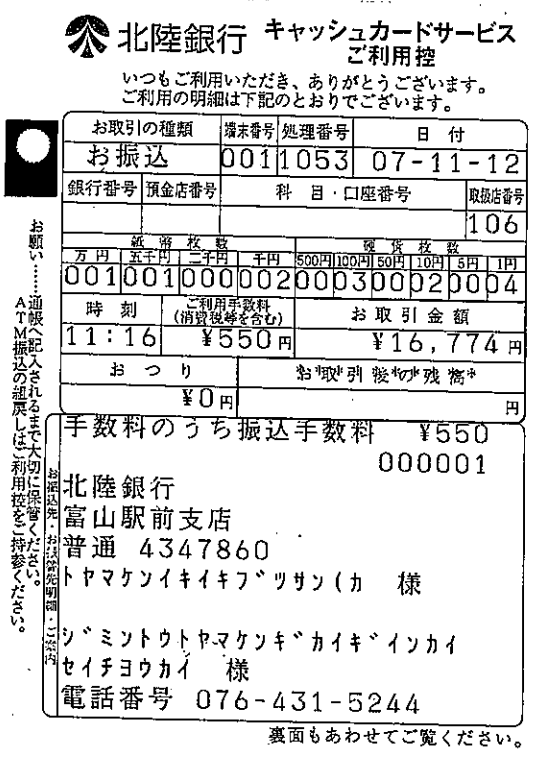
	相手方	政務活動費	個人負担
①	宮城県漁業協同組合志津川支店	2	
②	（有）伊豆沼農村	2	
③	（株）舞台ファーム	2	
④	二本松市（農業振興課）		2
⑤	株式会社SHONAI	2	
⑥	（一社）鶴岡サイエンスパーク	2	
		10個	2個

しろえび紀行（@1,150）	11,500	2,300
（消費税）	920	184
紙袋（@50）	250	50
（消費税）	25	5
送料	1,166	234
（消費税）	116	24
小計	**13,977 A**	2,797 **B**
合計	16,774円	

振込手数料	**458 C**	92 **D**
	550円	

政務活動費対象（A＋C） **14,435** ⑧

個人負担（B＋D）７人 2,889



北陸銀行 キャッシュカードサービス ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	端末番号	処理番号	日付
お振込	001	1053	07-11-12

銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106

紙幣枚数				硬貨枚数				
万円	五千円	二千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円
001	001	000	002	000	03	00	02	00	04

時刻	ご利用手数料（消費税等を含む）	お取引金額
11:16	¥550円	¥16,774円

おつり	お取引後の残高
¥0円	円

手数料のうち振込手数料 ¥550

000001

北陸銀行
富山駅前支店
普通 4347860
トヤマケンイキイキフ゛ツサン（カ 様

シ゛ミントウトヤマケンキ゛カイキ゛インカイ
セイチヨウカイ 様
電話番号 076-431-5244

裏面もあわせてご覧ください。

お願い……通帳へ記入されるまで大切に保管ください。ATM振込の組戻しはご利用控をご持参ください。

お振込先・お振込先明細・ご案内

13,977 （政務活動費）A

2,797 （個人負担） B

参考様式の４

令和7年12月19日

県外・海外 政務活動報告書

会派名　自民党富山県議会議員会

議員名　鍋嶋　慎一郎

整理番号	

活動名称	自由民主党富山県議会政務調査会 建設農水部会 県外視察
目的	建設農水部門の県外先進地へ視察
日程	令和7年11月5日（水）～7日(金)
場所 国名・都市名、施設名、訪問先等	宮城県漁業協同組合 志津川支所 宮城県登米市 伊豆沼農産 宮城県遠田郡美里町　舞台ファーム 二本松市役所　道の駅天童温泉 山形県鶴岡市
相手方等 主催者、対応者、参加者、同行者等	11/5 宮城県漁業協同組合志津川支所、有限会社伊豆沼農産 11/6 株式会社舞台ファーム、二本松市循環型農業推進協議会（オーガニックビレッジ宣言） 11/7道の駅天童温泉（産直店サンピュア） 株式会社SHONAI 一般社団法人鶴岡サイエンスパーク

行程・活動内容

別紙のとおり

※日帰りの政務活動を含む。

令和７年度

自由民主党富山県議会政務調査会
建設農水部会　県外視察　行程表

月日（曜）	地　名	交通機関	時刻	日　程	所在地
11月 5日 （水）	富山駅 仙台駅	新幹線	7:22 10:28	かがやき 502号・大宮乗継・はやぶさ71号 到着	
	仙台駅 南三陸町	借上車	 12:20 13:00	 昼食 出発	
		借上車	13:20 14:30	視察１　宮城県漁業協同組合志津川支所 説明者：戸倉出張所カキ部会長　後藤清広 氏 ・「戸倉っこかき」のブランド化、ＡＳＣ認証 ・「海さ、ございん」プロジェクト ・東日本大震災からの復興	宮城県本吉郡南三陸町志津川 字大森町 202番３.
	登米市	借上車	15:15 16:30	視察２　有限会社伊豆沼農産 ・農業を核とした複合経営について	宮城県登米市迫町新田 字前沼 149－７
	仙台市	借上車	18:15	三井ガーデンホテル仙台	宮城県仙台市青葉区 本町２丁目４番６号
11月 ６日	仙台市	借上車	8:30	ホテル出発	
	美里町	借上車	9:30 11:00	視察３　株式会社舞台ファーム ・美里グリーンベースでの取組みについて	宮城県遠田郡美里町 中埣字新上戸東36番地
	仙台市	借上車	12:50 13:20	昼食	
	二本松市	借上車	14:00 15:00	視察４　二本松市（農業振興課） ・二本松市循環型農業推進協議会（オーガニックビレッジ宣言）	福島県二本松市金色 403番地１
	二本松市	借上車		二本松駅 ※齋師部会員離脱、16：34二本松駅発→21：02新高岡駅着	
	米沢市	借上車 借上車	16:10 16:20	道の駅米沢	山形県米沢市川井1039－１
	山形市 山形市	借上車 借上車	17:30 17:30	ホテルメトロポリタン山形 ホテルメトロポリタン山形	山形県山形市 香澄町一丁目１番１号
11月 7日 （金）	山形市	借上車	9:00	ホテル発	
	山形市	借上車	9:30 10:15	道の駅天童温泉	山形県天童市 鍬ノ町二丁目３番41号
	天童市	借上車		天童駅 ※米原部会員離脱、11：47天童駅発→大宮乗継→17：04新高岡駅着 ※光澤部会員離脱、11：47天童駅発→14：48東京駅着	
	鶴岡市	借上車	11:40 12:30	昼食	
	鶴岡市	借上車	13:00 14:50	視察５　株式会社ＳＨＯＮＡＩ	山形県鶴岡市播磨字若松51－１ 別棟S-302
	鶴岡市	借上車	15:00 16:20	視察６　一般社団法人鶴岡サイエンスパーク ・山形大学アグリフードシステム先端研究センター	山形県鶴岡市 覚岸寺字水上246－２
	仙台駅 富山駅	新幹線 新幹線	18:57 22:03	はやぶさ34号・大宮乗継・かがやき 517号 到着、解散	

全体報告書

自由民主党富山県議会政務調査会 建設農水部会 県外視察 報告書

視察日：11 月 5 日～7 日

参加者：安達部会長、鍋嶋副部会長、米原部会員、宮本部会員、瘧師部会員、庄司部会員、光澤部会員

11 月 5 日（水）

視察１　宮城県漁業協同組合志津川支所

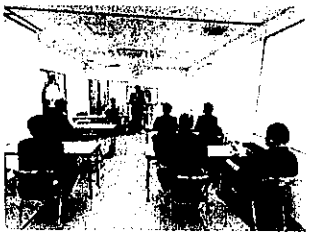
説明者：宮城県漁業協同組合 志津川支所 理事 行場 博文 氏
　　宮城県漁業協同組合 志津川支所 戸倉カキ部会 部会長 後藤 清広 氏

宮城県漁業協同組合志津川支所では、東日本大震災により施設・船舶・養殖いかだのほぼ全てが流失し、地域の基幹産業であるカキ養殖は壊滅的被害を受けた。しかし、全国からの支援と組合員の結束により、発災翌年には再建に向けた取り組みが本格化し、現在では「戸倉っこかき」ブランドとして高品質なカキの生産を実現している。

復旧過程では、従来の多量生産型から、環境負荷を抑え品質向上を図る養殖方法へと大きく転換した。具体的には、いかだ密度を震災前の約 3 分の 1 に抑え、海水の循環を改善し、カキ 1 個あたりの成長効率と旨味を高める仕組みを再構築した。この結果、収量は適正化されつつ、ブランド力の向上と市場評価の上昇につながっている。

また、同支所カキ部会は持続可能な漁業管理を重視し、国際的な水産エコラベルである ASC 認証 を取得した。これは漁場環境保全、労働安全、トレーサビリティ確保など、厳格な基準を満たした証であり、震災からの「新たな出発」を象徴する取り組みといえる。

今回の視察では、被災からの復興だけでなく、持続可能な水産業の実践が地域経済の再生を支えていることを確認した。



視察２　有限会社伊豆沼農産

説明者：有限会社伊豆沼農産 代表取締役社長 伊藤 秀雄 氏

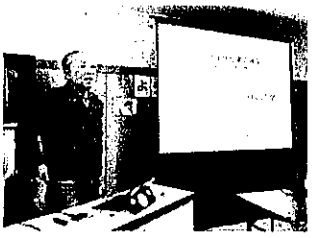
宮城県登米市で地域に根差した複合型農業経営を展開する「伊豆沼農産」を視察。

同社の社長より、同社が掲げる「農業を食業に変える」という理念のもと、農業を起点として幅広い事業を組み合わせる経営戦略の説明を受けた。

伊豆沼農産は、地域で生産される農畜産物を最大限に活かすべく、ハム・ソーセージ加工、アイスクリームやパンの製造、さらには酒類製造にまで事業領域を拡大している。農産品の付加価値化と販路確保を同時に進めることで、地域資源を循環させる仕組みを構築している点が大きな特徴である。また、自社レストランや直売所の運営により、生産から加工、販売、消費までを一体化した“6次産業化の先進モデル”を実践していた。

さらに印象的だったのは、「地域の宝物を再発見する事業」への積極的な取り組みである。地元住民と連携し、伝統的な食文化や景観、生態系など、地域が元来持つ価値を再整理し、その魅力を商品化や観光資源として磨き上げる活動を継続している。これにより、地域全体に誇りと経済効果をもたらす好循環が生まれているという。

今回の視察を通じ、農業を単なる一次産業として捉えるのではなく、食・文化・地域振興を結びつけた総合産業として発展させる同社の姿勢は、富山県における地域活性化や農業振興にも多くの示唆を与えるものであった。今後、地域資源を活かした複合経営や6次産業化を推進する際の重要な参考事例となり得ると考える。



11月6日（木）

<u>視察3　株式会社舞台ファーム</u>

説明者：株式会社舞台ファーム 代表取締役社長 針生 信夫 氏

宮城県遠田郡美里町に所在する株式会社舞台ファーム美里グリーンベースを視察した。

同社は総面積5.1ヘクタールの大規模植物工場を運営しており、その生産施設の多くは大型ハウスによって構成されている。

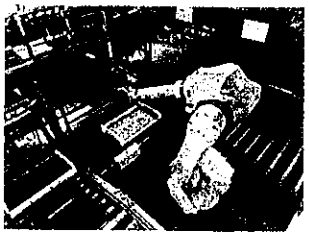
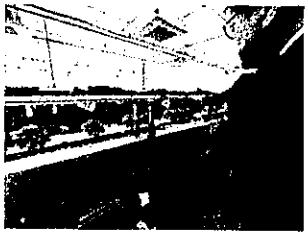
とりわけ特徴的であったのは、レタス栽培に関わる工程の大部分が自動化されている点で、播種・定植・栽培管理までを一連で処理するシステムが導入されていたことである。現場では、人手を最小限に抑えながら均質な品質を維持する高い技術力が確認でき、委員一同大きな衝撃を受けた。

総事業費は34億円に及ぶ大規模投資であり、AI・センシング・ロボティクスを組み合わせた先進的スマート農業のモデルとして全国的にも注目度が高い。

労働力不足が深刻化する中、このような自動化型施設園芸は今後の農業経営における重要な選択肢となり得る。特に、環境制御による安定生産と高い収量性は、地域農業の持続性向上にも寄与すると考えられる。

今回の視察を通じ、スマート農業技術の導入が生産効率と品質向上に直結することを改めて確認した。

富山県における施設園芸振興や担い手確保の施策検討において、同社の取り組みは大いに参考となるものである。

視察４　二本松市循環型農業推進協議会（オーガニックビレッジ宣言）

説明者：福島県二本松市産業部 部長 石井 栄作 氏
福島県二本松市産業部農業振興課 課長 鳴原 久勝 氏
福島県二本松市産業部農業振興課農政係 係長 安齋 友祥 氏

二本松市役所において「二本松市循環型農業推進協議会」および同市の「オーガニックビレッジ宣言」の取組について説明を聞いた。

二本松市は、地域資源を最大限に活用し、環境負荷の低減と農業者所得の向上を両立させる循環型農業を市全体で推進している。

協議会は行政・JA・生産者・消費者が連携する体制を整え、有機農業の拡大、生産基盤の強化、人材育成を柱として活動していることが示された。

特に、オーガニックビレッジ宣言に基づく学校給食への有機食材導入は注目すべき取り組みであり、市内農家が生産した有機野菜を計画的に供給する仕組みが構築されていた。これにより、児童生徒の食育推進とともに、地元農業の安定的な販路確保にも寄与している。

また、市内直売所では認証取得農家の産品が消費者に直接届けられ、有機農産物の理解促進と地域経済循環の深化が進んでいる。

今回の視察を通じ、行政主導のビジョン形成と、関係団体が一体となった具体的な実践が成功の要因であると確認できた。

富山県においても、地域特性を踏まえた循環型農業の推進や学校給食・直売所との連携強化など、二本松市の先進事例は大いに参考となるものである。

11月7日（金）

視察５　道の駅天童温泉（産直店サンピュア）

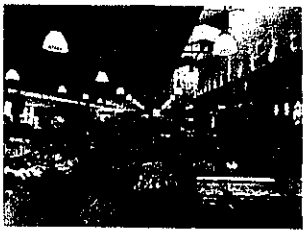
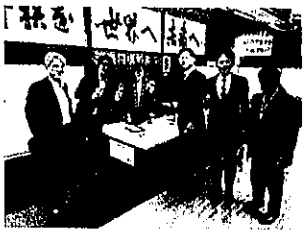
説明者：株式会社JAてんどうフーズ サンピュア店 主任 加藤 竜太 氏

道の駅天童温泉「産直市場サンピュア」を視察。

同施設は地域農家による新鮮な農産物の直売拠点として機能し、とりわけ洋ナシを中心とした果樹類の品揃えが豊富で、来訪者の評価も高い。生産者表示や季節情報の明確化など、消費者との信頼構築を図る工夫も確認された。

また、加工品売り場や休憩スペースが一体的に整備されており、観光客と地元住民の交流促進に寄与している。

地域資源を活かした販売戦略と持続可能な運営体制は、県内産直施設の参考となる点が多かった。

視察６　株式会社 SHONAI

KIDS DOME SORAI

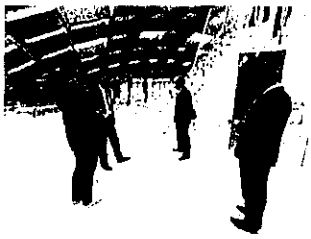
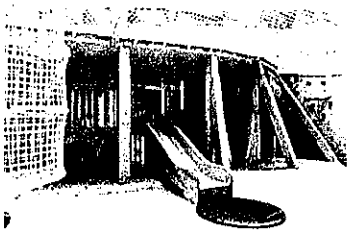
説明者：館長 渡邉 敦 氏

山形県鶴岡市で株式会社SHONAIが運営する「KIDS DOME SORAI」を視察した。

本施設は、子どもたちが自然や科学への探究心を育むことを目的とした全天候型の遊び・学びの空間であり、地域資源を活かした先進的な教育・交流拠点として高く評価されている。

視察では、地元産木材を取り入れた温かみのある建築デザインや、省エネルギー設備の導入など、持続可能性に配慮した取り組みについて説明を受けた。また、企業と教育機関が連携して運営し、行政は直接関与していない点が特徴である。

学童保育も充実しており、地域振興と子育て支援を両立させている姿が印象的であった。本県においても、地域材活用や官民協働による子育て環境整備のモデルとして大いに参考になる。

SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE
説明者：執行役員 土屋 陽子 氏
　　シニアマネージャー 川俣 聖子 氏

山形県鶴岡市の SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE を視察。

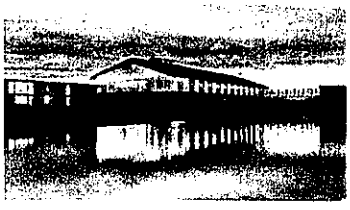
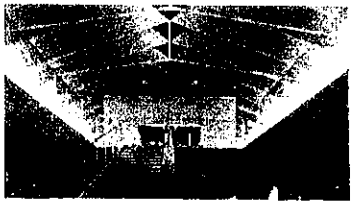
同ホテルは、水田に浮かぶように設計された独創的な建築が特徴で、地域の自然景観と調和した空間づくりが高く評価されている。

プリツカー賞受賞建築家・坂 茂氏による設計で、“田んぼに浮かぶホテル”として知られる。

坂氏は「水田の美しい風景を損なわず、建築を優しく挿入すること」を重視し、基礎部を除き木造構造を採用。

紙管を家具や間仕切りに多用するなど、サステナビリティを意識した独自の意匠が館内随所に見られた。また、折板構造による柱の少ない大空間や、熊本地震の被災瓦を用いた中庭、大窓の木の筋交いなど、環境配慮と機能美を両立した設計が印象的であった。

自然と建築が調和した空間は地域資源活用の好例であり、水田の多い本県の施設整備にも大いに参考となる。

視察７　一般社団法人鶴岡サイエンスパーク

説明者：一般社団法人 鶴岡サイエンスパーク 事務局 髙橋 春乃 氏

先端的なバイオ産業の育成状況を把握することを目的に、山形県鶴岡市の一般社団法人鶴岡サイエンスパークおよび慶應義塾大学先端生命科学研究所を視察した。

同エリアは、産学官連携によるバイオ関連企業の集積が特徴であり、研究成果を活用した多様な事業化が進展している。

特に、腸内環境研究を基盤とした「献便」プログラムは、地域住民から便サンプルを収集し、腸内細菌の解析を通じて医療・食品分野の研究を推進する独自の取り組みとして注目された。これにより、疾病予防や個別化栄養の実現に向けたデータ基盤が強化されている。

また、企業支援機能やインキュベーション施設を備えるサイエンスパークの運営体制について説明を受け、地方におけるバイオ産業集積の好例として参考となった。

富山県におけるライフサイエンス分野の振興にも応用可能な示唆が多く、有望な研究・産業の誘致や人材育成の重要性を再認識した。

自由民主党富山県議会議員会
政務調査会 建設農水部会　県外視察報告書　　米原　蕃

① 宮城県漁業協同組合志津川支所

東日本大震災により施設・船舶・養殖のすべてが流出した基幹産業のカキの養殖の発展に向けた新たな出発、再構築を象徴する取り組みを視察。

② 有限会社伊豆沼農産

宮城県登米市で地域に根差した複合型農業経営を展開している。同社が掲げる農業を「食業」に変えるという理念のもと、農業を起点として幅広い事業戦略の説明を聞く。

6 次産業化の手本となるような施設は、農業を産業として地域性化につなげるモデルであると痛感した。

③ 株式会社舞台ファーム

次世代の農業とは、農業の未来と持続可能な食と農を目指す企業。

＜事業内容＞　① 野菜・米の生産、販売
② 農産物加工、販売
③ 農業経営に関するコンサルティング

＜資本金＞　5,000 万

＜売　上＞　グループ 53 億円（令和 7 年）

社長の講話を聞いて、日本の次世代型農業経営のモデルだと、確信させられた。

今回の視察は、本県の次世代の農業経営に非常に参考になる研修の場であった。去る富山県議会 11 月定例会の予算特別委員会において、この度の視察を通じて学んだ、優れた先進事例の実例を紹介し、今後の本県農業のために大いに学ぶべきことがある事を報告させていただいた。

近い将来、本県に生かしてほしい。

自民党建設農水部会県外視察所感

宮本光明

1．宮城県漁業協同組合志津川支店

東日本大震災の大きな被害を乗り越え、「戸倉っこかき」のブランド化に成功した取り組みを伺った。環境にやさしく良質なカキ生産のため、養殖いかだの密度削減やASC認証による持続可能な漁業管理に取り組んでおられ、本県の育てる漁業の参考にしたい。

2．(有)伊豆沼農産及び（株）舞台ファーム

伊豆沼農産では地域で生産される農畜産物を最大限活用し、ハム・ソーセージやアイスクリームの加工、酒類製造販売と多角的な経営の説明等を受け、本県の地産地消や大規模な施設運営の取り組みの参考となった。

また、舞台ファームでは総面積５．１ヘクタールの大規模食物工場で広大な施設内でほぼ自動化された植物工場の取り組みを視察した。

富山県においても、野菜生産の拡大や企業の農業参入の必要性が常々議論されているが、今回視察した両会社の取り組みは極めて大規模で独創的なものであった。

本県の野菜生産の取り組みを大胆に打ち出していく必要を感じた。

3．（株）SHONAI

「KIDSDOMESORAI」では、子供たちの自然や科学への探求心を育む施設運営等を視察し、県産材の利用や子育て環境、カリキュラムなど官民一体となった取り組みを改めて感じた。

その後、SHOUNIHOTELSUIDENTERRASSEの視察を行った。同ホテルは水田の中にあるホテルで水田の風景が売り物となっている。一見何もないところと感じるが四季の移り変わりが魅力となっている。

本県においても、ハイグレードなホテル等の誘致が模索されているが、特別でないものが特別であったり、自然との調和は利用者には特別なものだということを改めて痛感した。

本県のホテルをはじめ様々な施設の誘致にしっかりと活かしていかなければならない。

4．一般社団法人鶴岡サイエンスパーク

先端的なバイオ産業の集積のため、産学官が連携して取り組む施設として研究機関や企業が集積し多くの若い世代が集まっている。

本県における産学官連携も、明確な拠点施設整備と産業界に広く集積を呼び込む努力が必要と感じた。

瘧師富士夫

自由民主党富山県議会議員会政務調査会 建設農水部会 県外視察 所感
視察日：令和７年11月５日、６日

視察１ 宮城県漁業協同組合志津川支所

志津川支所が取組むカキ養殖は、南三陸の海の幸の豊かさを活かし、未来につながる水産業として地域経済を支えている。その道筋は平坦ではなく、まさにピンチをチャンスに変え、そのチャンスを活かした好事例ではないか。1960 年代から盛んになった志津川湾のカキ養殖は、養殖いかだを増やせば生産量が上昇していたが、カキを育てる豊富な植物性プランクトンが減少し、過度な養殖で成長は鈍化してしまった。漁師たちは、海の限界を目の当たりにするも、いかだを減らすことの判断に踏み切れなかった。そこに起こったのが東日本大震災。津波に襲われ、施設・船舶・養殖いかだ、そこにあった暮らしは、全て失ってしまった。しかし、漁師たちはこの逆境を乗り越えようと再建に向けた取組み本格化した。そして、お互いひざを突き合わせ語り合い、以前より養殖いかだの数を三分の一に減らす決断をした。生産量を減らすことで、適正な生産密度ととなり、海水の成分環境、燃料消費をルール化するなど、カキの品質向上を実現させ、「南三陸戸倉っこかき」のブランド化の構築につなげた。2016 年、日本国内で初めて「責任ある養殖により生産された水産物」として、ASC 認証を取得したことは、環境を改善しながら、社会と経済の質を高めることに努めた結果であるといえる。震災からの再建に取組む過程で、漁師たちは、ベテランから若者まで、様々な世代がそれぞれの持ち味で活かしながら一体化し、新しいコミュニティーに生まれ変わる、持続可能な産業の実践には、やはり、人と人とのつながりが大切だと感じた。

視察２ 有限会社伊豆沼農産（宮城県登米市）

伊藤社長から明るい農村を目指した複合型農業経営の実践について、熱量を感じる説明を受けた。「農業を食業に変える」を経営理念に、農産物を作る仕事から、食糧を供給する仕事へと幅広い事業が組み合わされ、様々なアイディアで地域資源を循環させる取組みが展開されている。登米ブランドに認定される伊達の赤豚伊豆沼ハムの加工、ジェラートや豚まん、メンチカツ、フランクフルトの製造、それら伊豆沼農産商品と近隣農家からの野菜や花、加工品等と併せて直売マーケットで販売。また伊豆沼農産食品を含めた地元食材を味わえるレストランを幅広い用途で営業と、まさに生産から加工、販売、消費までを一体化した 6 次産業化の典型例といえる。

さらに経営理念を「人と自然へのやさしさを求めて」と進化させ、農村に「あるもの」に新しく価値を見つけ、その資源を活用し、地域に最適な産業を創造する事業に幅を広げている。ラムサール条約登録湿地「伊豆沼・内沼」の自然、生態系に触れる体験プログラム、田植え・稲刈りや野菜・果実の収穫の共同作業を地域の人との交流の場とするなど、地域住民と連携した事業は、地域資源のブラッシュアップと地域の活性化につながるものと。農村社会を良くしたいという気持ちを持ち、常に考え続けることの大切さを学んだ。

視察３　株式会社舞台ファーム 美里グリーンベース

黄金色に色付く農村地帯に出現する白い大型ハウスは、神秘的でもあり、単なる施設園芸農業の枠を超える存在感で我々の目を釘付けにした。舞台ファームが取組む大規模植物工場によるレタス栽培は、ロボットによる定植作業、液肥や株間を11段階に分けての管理など、レタスの育苗から栽培までを自動化、最新のテクノロジーが使われるとともに、透過性の高いハウスにより、できるだけ太陽光での栽培を可能にしている。また従来の水耕栽培と土耕栽培をかけ合わせた生産方法により、自然栽培に近い環境を作り出している。一日あたりの生産量は約３万株～５万株。施設を管理する人員は４人で、その管理のトップがインド人の方であった。人出を最小限に抑えながら均質な品質を維持し高い生産性を誇る先進スマート農業の展開に委員一同大きな衝撃を受けた。

農業従事者の減少が加速化する中、若者が農業の可能性にかけるのは、野菜・果樹・花きなどの園芸作物の栽培である。私の地区でも近年、ぶどう園の開園や、イチゴ栽培に乗り出す動きがある。富山県の園芸作物の産出額は全国最低を続けており、早くから「コメ生産主体の農業構造からの脱却」が富山県農業の課題とされている。若者が農業に対し、将来に希望が持てる農業にするのは、「稼ぐ力」の向上が必要である。舞台ファームの視察を通じ、スマート農業技術の導入が生産効率と品質向上が図られ、富山県における施設園芸の振興や担い手確保の施策検討にあたり、大いに参考になるものと感じた。

視察４　二本松市循環型農業推進協議会(オーガニックビレッジ宣言)

二本松市は、地域資源を最大限に活用し、環境負荷の低減と農業所得の向上を両立させる循環型農業を推進している。もともと二本松市は、昭和 53 年に有機農業研究会が設立され有機農業の礎が築かれ下地ができていた。近年の地球温暖化の中、地球環境問題に対応した農業のあり方が求められ、環境負荷の少ない持続可能な食料システムを生産者、事業者、消費者との協働をもって、オーガニックビレッジ宣言に至った。特に学校給食への有機農産物の活用は、市内農家が生産した有機野菜を計画的に供給する仕組みが構築され、食育推進とともに、地元農業の安定的な販路確保に寄与されている。学校側が安価に有機食材を導入できるよう、市のほうでいくらか補助していると思われたが、それはないというので少々驚いた。市内直売所では、認証取得農家の生産物が消費者に直接届けられ、地域に有機農産物の理解が進んでいると思われる。行政主導に頼らず関係団体が一体となって取組んでおり、協議会会長の強いリーダーシップが垣間見えた。

富山県においても、JA 直売所における循環型農業の推進や学校給食への有機食材導入など、地域の特色を最大限に活かすための関係団体の連携強化が必要ではと感じた。

自民党富山県議会議員会政調会　建設農水部会　視察報告書

報告者　安達　孝彦

○宮城県漁協志津川支所

宮城県漁協志津川支所では、東日本大震災により被災した養殖いかだをそのまま復旧はさせずに、これを機に過密だったいかだの量を 1/3 に減らし、海水の循環を改善させることにより、カキ１個当たりの成長効率とうま味を高めることに成功した。そして現在では「戸倉っこかき」ブランドとして高品質なカキの生産を実現している。いつかは解決しなければならない課題で、このままいけばジリ貧状態に陥る可能も高かったが、震災を機に大きな決断をされた。そこに至るまでは意見集約に大変なご苦労もあったと聞いたが、持続可能な漁業に向けて大変意義深い取り組みであると感じた。

○伊豆沼農産

同社は「農業を食業に変える」と言う理念のもと、農業を起点として多角的に幅広い事業に取り組んでおられた。

特に、ハム・ソーセージ加工、アイスクリーム、パン製造、さらには酒類など事業領域を拡大させているとともに、地域の宝物を再発見させるとのことで、積極的に地域住民とも連携し、地域創生、地域活性化にも主体的に取り組んでいるのが印象的だった。こうした事業者が様々な地域に存在すれば、地域の核となり地域が元気になる取り組みが全国に広がっていくと感じた。

○舞台ファーム

（株）舞台ファームの美里グリーンベースを視察した。同社は約 5.1ha の大規模植物工場を運営しており、特にレタス栽培のハウスはまさに工場と言うべきもので、ほとんどが全自動化されており、播種・定植・栽培管理までを一元管理し同品質のレタスが手間かからず生産されていること、そしてその規模に大きな衝撃を受けた。

未来の農業の姿を体現しているようで、今後本県においてもこのような取り組みを取り入れていくことも人手不足、気候変動の中では必要と感じた。

○二本松市循環型農業推進協議会

二本松市が取組んでいる、オーガニックビレッジの取り組みについてお伺いした。

かねてより積極的に有機野菜の栽培に取り組んでいるとのことだったが、一方で商業レベルまでは到達しておらず、まだまだ取り組みが弱いと感じた。今後さらなる先進地の取り組みを参考に、本県においても普及拡大に取り組む必要がある。

安達孝彦

○SHONAI

地方から国を変える。地方創生のモデルともなる取り組みを視察させていただいた。キッズドーム SORAI では子供たちが生き生きと遊び、学んでいる姿が見られた。館内は「アソビバ」「ツクルバ」「ワークショップ」の施設に分かれており、それぞれ子供たちが主体的に活動が出来るように工夫がされていた。

また、水田テラスは普通の田んぼの中にお洒落なホテルが設置され、賑わっていた。こうした何のへんてつもないところでも都会の人は魅力を感じることに気付かされた。

なお、SOUNAI では教育をベースに農業、観光、企業変革に取り組み、それによって世界と勝負する力をつるけるべく様々な取り組みを行っていた。これらが、さらに多くの地方に広がることで地方創生がもう少し進み、地方の過疎化の解決に役立つのではないかと思った。

○鶴岡サイエンスパーク

２００１年に慶應義塾大学先端生命科学研究所の誘致・開設によって幕を開けた。県と鶴岡市の行政の支援をベースに、大学、民間企業、そして市民をも巻き込み多くの研究がなされており、その多くが世界の先端を行くものであった。私たちは、その中でも発酵微生物を利用した次世代食品の開発に取り組んでいる「フェルメクテス」の研究について詳しく教えてもらった。今後食糧危機に瀕したときに、環境負荷が小さく、かつ効率よく生産される食用たんぱく質を納豆菌より抽出するというもので、それで作ったパンを食させていただいたが、とても柔らかく、甘みもあり、かつ栄養価も高くと、これまで食べたことがないような美味しい味がしました。こうした技術がもっと普及し、安価で製造・販売が出来るようになると今後の食糧問題を解決する大きな力になると感じた。

自由民主党富山県議会政務調査会建設農水部会　視察所感

庄司昌弘

① 南三陸戸倉っこかき

牡蠣養殖のいかだの数を3分の1に減らす決断をして、権利制では無く、若い担い手に配慮したポイント制でいかだの数のバランスをとった。

生産量を減らす事でのびのびした環境で牡蠣を育てる事ができるようになり、2～3年かかっていた出荷までの期間を1年に短縮することに成功した。

持続可能な養殖に与えられる国際的なエコラベル認証ASC認証を日本で初めて取得。食を守る漁業環境は日本の財産であり、環境や人を守る、育てる支援が必要であると感じた。

② 伊豆沼農産

農業を食業に変えるを理念に地域の人と自然を活用しながら、地域資源に新しい価値を見つけ、地域に最適な産業を創造している。

自然、農業、食を中心とした体験プログラムを提供し、フットパスやインバウンド対策にも力を入れている。海外からの評価を農家が苦手とする販売にも活用されている。

行政の支援はあくまでも後押しであり、農家の主体性を育て持続可能な地域農業の担い手を育てる必要があると強く感じた。

③ 舞台ファーム

次世代の農業は日本沸騰、温暖化に適応する必要がある。農業にアグリカーボンニュートラルの概念を取り入れ、最先端技術を駆使して、持続可能な食と農業、日本農業の新しい未来を創造しなければならない。

富山県においても温暖化は大きな課題であり、農業生産物の安定した供給と販売ができるモデルとなる体制を創る必要がある。

④ 二本松市循環型農業

近年、地球環境問題に対応した農業のあり方が求められているとともに、環境負荷の少ない持続可能な食料システムを生産者、事業者、消費者との協働により実現することが求められている。今後の課題として、適正な価格設定と消費者理解の促進が必要である。

⑤ 道の駅天童温泉（産直店サンピュア）

農協が直売所専門の子会社、株式会社JA てんどうフーズ を立ち上げ運営している。女性や若い職員が生き生きと仕事している姿が印象的だった。富山のJAにおいても農家、組合員のためにも食品加工や販売力を強化しなければならない。

⑥ 株式会社SHONAI

地方創生のための研究機関と教育、宿泊施設が一体となって整備されている。水田テラスについては、立山のヘルジアンウッドと連携協定を結んでいるとの事で、本県の地域活性化にも大いに参考になると考える。

⑦ 一般社団法人鶴岡サイエンスパーク

富山県におけるヘルスケア産業分野の振興についても、スポーツや健康などを研究する県外大学研究機関との連携が必要だと感じた。

鍋嶋慎一郎

自由民主党富山県議会政務調査会 建設農水部会 県外視察 所感

視察１　宮城県漁業協同組合志津川支所

震災で壊滅的な被害を受けながらもいかだ密度の改善や、ASC 認証取得など持続可能性を重視した再建が印象的でした。品質向上とブランド化を両立させ、復興と水産業の新たなモデルを示す好例であると感じました。

視察２　有限会社伊豆沼農産

農業を「食業」へと転換し、加工・販売・観光を一体化した６次産業の先進事例であった。地域資源を活かした複合経営により経営循環を創出しており、地域活性化に向けた示唆が多く得られた。

視察３　株式会社舞台ファーム

大規模植物工場でのＡＩ・自動化技術の活用のより、省力化と高品質生産を実現する様子に強い衝撃を受けました。スマート農業の可能性を示すモデルであり、担い手不足の解消にも寄与できると感じました。

視察４　二本松市循環型農業推進協議会（オーガニックビレッジ宣言）

行政・JA・生産者が一体となり、有機農業と循環型農業を推進する体制が印象的でした。学校給食への有機食材供給は食育と販路確保を両立しており、地域全体の温かな連携が成功要因であると感じました。

視察５　道の駅天童温泉（産直店サンピュア）

地元農産物の魅力を最大限に引き出す品揃えや表示の工夫が消費者の信頼につながっているものと感じました。観光客と地域住民の交流拠点として機能しており、産直施設運営の参考となる有効な事例でした。

視察６　株式会社 SHONAI

KIDS DOME SORAI

地域材を活かした温かみのある設計と、企業と教育機関による運営が特徴的でした。子供の学びと遊びを融合させ、地域振興と子育て支援を両立する先進的モデルとして、非常に参考になりました。

SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE

水田景観と調和した建築デザインが圧倒的で、地域資源を活かす発想に驚かされました。環境配慮と機能性両立させた設計は、本県の観光施設整備にも応用可能な価値ある事例であると感じました。

視察７　一般社団法人鶴岡サイエンスパーク

腸内環境研究や企業集積が進む先進的バイオクラスターとして、高い完成度を感じました。地域住民参加型の研究体制が特徴であり、地方でも高度産業創出が可能であることを示す参考性の高い視察でした。

建設農水部会
光澤　智樹

自由民主党富山県議会政務調査会建設農水部会県外視察（東北）活動報告

1　１１月５日（水）

(1)　宮城県漁業協同組合志津川支所

東日本大震災で大きな被害を受けた同支所を視察し、震災からのカキ養殖の再建に向けた取組について伺った。震災を機に大量生産型から環境負荷を抑えた養殖に方向転換し、「戸倉っこかき」としてのブランド化を進め、現在では、若い世代も多く携わるなど、震災からの復興はもとより人口減少化においても水産業の持続的発展に取り組まれており、震災を機にあえて新たな手法を取り入れることの可能性を感じた。

(2)　(有)伊豆沼農産

複合型農業経営についての説明をいただき、幅広く展開している事業についての説明を受けた。６次産業化の先進モデルとなるような様々な事業を展開しており、現地では直売所の様子も視察した。農産品にしっかりと付加価値を生み出すとともに、自社レストランなどの取組等も通じて好循環を生み出していることを確認した。このような好事例が本県でも広がるような仕組みについて引き続き研究していきたい。

2　１１月６日（木）

(1)　(株)舞台ファーム

全国でも注目されている(株)舞台ファームの取組を視察し、全国的に担い手不足・人材確保が課題となる中、生産性を上げるための様々な設備やロボットを視察し、先進技術の可能性を感じた。工場では外国人の方も多く活躍されており、これからの農業のあり方を考えるための資となった。スマート農業は各地で導入されているものの、常に新しいものに挑戦しようとする企業の姿勢が重要であることを再認識した。

(2)　二本松市循環型農業推進協議会（オーガニックビレッジ宣言）

同協議会の取組や同市の「オーガニックビレッジ宣言」の取組みについての説明を受けた。食育の推進等についても行政も一体となって取り組むことの重要性を再認識した。

3　１１月７日（金）

道の駅天童温泉（産直店サンピュア）

当該施設は、特産品のラ・フランスをはじめ地域の農産物も多く取り扱われており、販路の一つとしても重要な役割を果たしていた。施設整備にもこだわっており、観光客のみならず地元住民も多く利用されていることを確認した。